



いのちまもるキャラバン行動スタート

9月9日大会終了後、富山駅前にて夕方27名で安心・安全の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める国会請願署名行動を行いました。短時間でしたが89筆集まりました。

2016年度富山県医労連役員

執行委員長	大浦 義憲 (現)
副執行委員長	竹林 誠 (新)
書記長	嘉地 政見 (現)
書記次長	新保 京子 (現)
書記次長	渡辺 学(現)
執行委員	谷 真人 (元)
執行委員	藪下 龍介(現)
執行委員	田中 悠 (現)
執行委員	中本 晴香 (新)
執行委員	前田 洋志(現)
執行委員	青木 雅司 (新)



富山県医労連 第31回定期大会開催

富山県医労連は、9月9日呉羽ハイツにて第31回定期大会を開催。5組織27人が参加しました。大会議長に全医労の岩口さん、富厚労の高橋さんを選出しました。第1号議案の2017年度運動方針・第2号議案の2017年度予算案は全会一致で採択されました。その後役員選挙、スト権投票を行い、執行委員全員が信任、秋闘ストライキ権も確立しました。

日本医労連の内田副委員長より、情勢報告・日本医労連方針の説明がありました。

「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を国に求める」意見書が富山県議会で全会派一致で採択される

富山県議会で、9月27日、今までよりも踏み込んだ介護労働にかかわる意見書が採択されました。医労連が主張してきた以下の前文が入りました。

- ①前回の介護報酬の改定は十分なので1年前倒しで処遇改善の賃金改善にまで至らなかった
- ②人材不足の解消・介護保険制度の充実を図る為には、介護報酬の引き上げが欠かせない
- ③報酬の引き上げに伴う負担を自治体や患者さん利用者さんに負わせる事も重要

